令和6年度 行方市立玉造中学校 グランドデザイン

校訓 強い心 強い体

教育目標

自立貢献

～人の役に立つ喜びを実感できる生徒の育成～

信頼 目指す学校像

◆安心・安全な学校
◆一人一人が尊重され、活躍できる学校

玉造中に通わせてよかった

笑顔 目指す生徒像

◆自分で考え、判断し、行動できる生徒
◆進んで人の役に立とうとする生徒
◆夢の実現に向かって学ぶ生徒

玉造中生でよかった

やりがい 目指す教師像

◆明るく情熱を持って指導できる教師
◆生徒とともに成長する教師
◆生徒の思いや願いを大切にする教師

玉造中に勤務できてよかった

本県・本市の教育

【学校教育指導方針】
すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり

【行方市教育大綱 基本目標】
新たな価値を創造し 郷土と社会の未来を切り拓く人間の育成

【行方市学校教育 5つの矢】
・学力向上 ・豊かな心 ・いじめ長欠不登校対策
・特別支援教育 ・幼児教育

base 基本的な生活習慣の定着、健康・安全教育
家庭、幼稚園、学校、地域の連携

組織目標

○生徒の学ぶ意欲を高め、「分かった」「できた」と実感できる授業を実践する
○生徒の自治的活動により、自ら考え、判断し、行動する力を養う
○自己管理能力を高め、心身ともに健康でたくましく生きる力を養う

地域とともにある信頼される学校

～学校・保護者・地域の力で玉造を元気にする～

○学校・学年だより、HPによる情報発信
○「たいせつですね」運動の推進
○学校運営協議会(コミュニティスクール)の効果的な活用
○適切な情報発信及び学校評価に基づいた取組の改善
○地域行事等への積極的な参加

【数値目標】「学校は教育目標や教育方針、学年学級目標等を配付物やHPで家庭にわかりやすく伝えている」と回答する保護者 95%以上(R5／93%)

教職員の資質向上

(学び続ける教職員)

○授業改善への取組
・教師の学び合いが生まれる校内研修の充実(一人1回以上の授業公開)
・各種教員研修への積極的な参加
・講師を招いた授業研究会の実施
○教員評価を生かした資質・能力の向上

【数値目標】「生徒が楽しいと思う学校づくりができている」と回答する教師 95%以上(R5／89%)

働きやすい職場づくり

○業務の改善「効率化・平準化」
・部活動の複数顧問制
・年次休暇の取得の推進
○教職員の意識改革「スクラップ&ビルド」
・管理職による個別の勤務時間に応じた助言
・生徒下校後2時間以内の退勤

教育方針 生徒が主役

一人一人の良さを認め、生かし、自信をつけさせる

未来を切り拓く

【数値目標】
●「授業がよく分かる」と回答する生徒 85%以上(R5／82%)
●進んで授業に取り組んでいる生徒 85%以上(R5／82%)
●県学力診断のためのテスト 県平均以上

【今年度の重点】

1) 玉造中スタートアップカリキュラムにより、学びにおける小学校との絶え間ない接続を図ります。

2) 各教科・領域の授業において、生徒が主体となった授業を展開し、学びに向かう意欲を高めます。
3) 習熟度別指導(英語・数学)等、生徒一人一人に応じた授業を展開することで学力の伸長を図ります。

4) 生徒の表現力の育成に重点を置き、自分の考えを的確に表現する力を伸ばします。

自他を大切にする

【数値目標】
●「学校が楽しい」と回答する生徒 90%以上(R5／87%)
●「みんなのためになることを自分で見つけて実行している」と回答する生徒 85%以上(R5／83%)

【今年度の重点】

1) 生徒が主体的に取り組む学校行事等を展開することで、生徒一人一人の成就感・充足感を高めます。

2) ボランティア活動を推奨し、人の役に立つことの喜びを実感することで、実践力を高めます。
3) 生徒一人一人の困り感や心身の発達状況に応じた関わりにより、特別支援教育の充実を図ります。

4) 生徒アンケート(学校生活アンケート・QUテスト・いじめアンケート)や教育相談で生徒の実態をとらえ、生徒の「今」に寄り添います。

たくましく生きる

【数値目標】
●体力テストA+Bの判定55%以上(R5／50%)
●「自分には良いところがある」と回答する生徒 80%以上 (R5／71%)
●むし歯の治療率65%以上(R5／64%)

【今年度の重点】

1) 運動量を確保した体育の授業により、体力・運動能力の向上を図ります。

2) 栄養職員による指導及び、日々の学校給食における指導を通して食に対する関心を高めます。
3) 体験活動やキャリア教育の充実により、将来に向かってたくましく生きる心を育みます。

4) 健康教育の充実により、自分の健康に対する意識を高め、積極的に改善していこうとする力を養います。

玉造地区 幼小連携・小中一貫教育の推進「多くの人と関わり、話し合う活動を通して、自分で考え、自分で判断し行動できる幼児児童生徒の育成」